

# 県職員九条の会 総会・講演会アンケート結果

実施日 2022年6月11日

- ◆回答枚数：23 枚
- ◆参加状況：総会と講演会12、講演会のみ10、NA1
- ◆講演会について：大変よかった19、よかった3、NA1
- ◆年代：40代1、60代8、70代12、80代1、NA1
- ◆所属など：現役4、OB・OG17、NA2

## 【総会についての感想・意見・要望】

- ◆総会参加者からの発言、例えば九条に対する思いや、今、こんな実践（対話）をしているとか、家族や仲間の九条に対する声や今の政治の動き、マスコミの動き、組合・県庁職場や知事の発言など、情勢に対する思いとかあればよかったと思います。-県職員九条の会-県・県職員がどうなっているかもっと話してもと思います。
- ◆遅刻しながら発言させていただき申し訳ございません。県職労連がHP担当とうかがいましたが、県職労連は財政・人材面等厳しい状況です。つきましては事務局機能の分担について見直しただけですと幸いです。役員体制：会計監査も必要と思います。幹事へ自治労県職（いちょう会）の方にもう一人引き受けていただき、自治労県職の組合員の方にもご参加いただきたい。
- ◆意見が出て良かったです。

## 【講演会についての感想・意見・要望】

- ◆渡辺治さん元気ですね。77歳の九条も元気にしなくては。どうすれば元気になるのか。今までの元気の秘訣からわかりやすく話が聞けたかと思います。「他国を攻撃しない」ことが「他国から攻められない」その当たり前のことがよくわかったと思う。
- ◆九条が戦後77年間、戦争に巻き込まれない状態を維持してきたことが具体的な説明を伺い、あらためて確信した。ウクライナ情勢により、日本の軍事化を良しとする世論が大きくなることを危惧していました中、本日は論点整理ができ有意義だった。
- ◆改憲を歴史的に位置付けて捉えることによって現在の状況が突然起きたことではないと知り、これらの動きにもびっくりせず地道に対処していくことが必要と思いました。
- ◆改めて九条の意味を考えた。岸田さんはソフトなので本当に改憲するのかと思っていたが、米軍の対中国包囲網の一環としての安保条約の意味（日米同盟）が改めてわかった。ただ、参院選後2/3の議席で改憲へと一直線に進むのか？危機感がうすれた気がするが、これはメディアの変質が大きいのか？
- ◆説得力ある講演に引き込まれてしまいました。大変勉強になりました。前向きになれました。確信をもって活動されている先生の姿勢に感動致しました。あきらめない・絶望しない・正しい目で見えていく必要性、過度な不安でなく小さな力でも行動していきたいと思いました。できる限りピラなどを通して学習会や集会に参加したいと思いました。

- ◆解りやすかった。運動の継続が必要であることがわかった。
- ◆「戦争や侵略はある日突然に起こることはない」この言葉、肝に銘じました。
- ◆すばらしい元気になれる講演でした。九条破壊させないようにがんばろう！と思いました。
- ◆九条の意義を改めて認識しました。これからも自信を持って九条の大切さを確認し、守っていききたい。訴えていきたい。
- ◆分かりやすく希望のもてる話を聞いてよかった。
- ◆九条のもと 77 年間、不戦でいられた意義の大きさがよくわかった。
- ◆とてもよくわかりました。九条が 77 年戦争をしない国として世界で唯一の国ということ。九条は絶対守っていくという市民の運動をさらに強めていくことの必要性をあらためて強く感じた。
- ◆ハキハキとした歯切れのよい話しぶりで聞きやすかった。レジメそのものを読んだだけでも学習できて話がさらによくわかった。また、質問への回答がていねいで良かった。
- ◆九条はまだまだ生きていると強く思った。
- ◆憲法九条の持つ現代的意義がよく理解できました。
- ◆九条があったからこそ 77 年間戦争しなかった、できなかった世界に類のない国であることに確信がもてた。今後の護憲活動にはすみがついた。
- ◆国会に国民投票法があげられれば数で押し切られるのではないか。国会にあげられないようにする闘いはどうするのか。選挙に護憲派が多くなればもちろんいいが、国民のために戦うということに反対する国民は多いのに何故自分は関係ないと思うのかと気になっていました。国会でゼレンスキーの演説に共産党も立ち上がって拍手。国のために戦うことに賛同したように受けとめられている。「国のため」といっても戦いたくない。
- ◆素晴らしいご講演でした。県職労連運動にどう活かせるか、みんなと話し合いたい。
- ◆とてもわかりやすくて、素晴らしい講演でした。
- ◆九条をかえないという明確な理由を理解しました。万一攻めてきたらどうするのか、という問いに明確に答えていただきました。万一なんてことは絶対ない。
- ◆憲法の大切さがわかりました。
- ◆徴兵への言及がなかった。ウクライナへのプーチンのミサイル爆撃の話も少ししてほしかった。

### 【「平和のつどい」や「フィールドワーク」に希望するテーマやおすすめの場所】

- ◆内部的なところだけでなく、県職員にどう広げていくか。労働組合や県職員もそうですが、知事や幹部、議員との対話をする中で広げる取り組みができないかと思います。Web も使いながら。
- ◆県職労組合員の参加呼びかけしたいが、コロナ全庁応援態勢で多忙のため、Web 併用の学習会開催を希望します。Web 参加してみて九条の大切さを実感し、「では、フィールドワークへ参加してみようかな？」という動機づくりにつながるのではと感じます。
- ◆憲法を生活場面で生かす、活用するための具体的方策について。
- ◆登戸研究所に再度行ってもよいかも。
- ◆テーマ、難しい。今、考えつかない。フィールドワーク…明大生田校舎に戦争遺物があるようだが。